

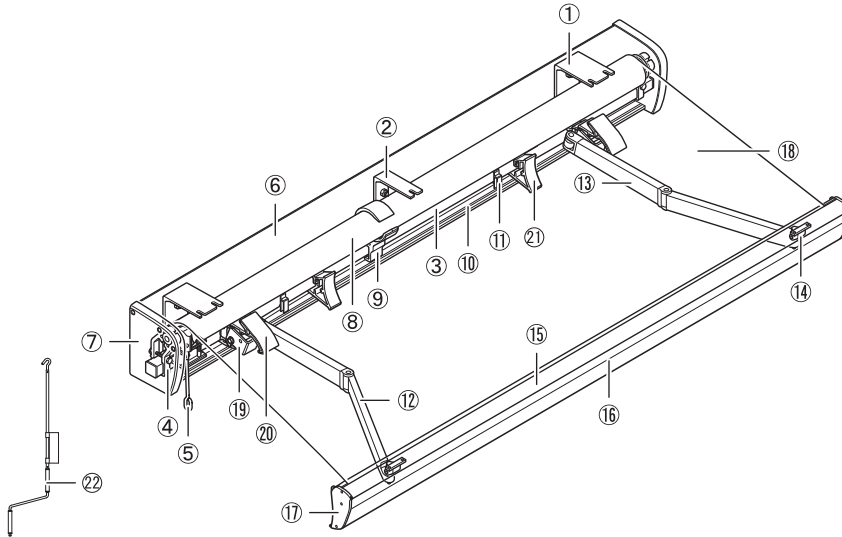
この度はBX テンパル株式会社のロールオーニング・エルバーネ《NS マキシム・ボックス》をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。

取り付けに際しては、本書を十分にお読み頂き、手順及び方法に必ず従って施工して下さいますよう、お願い致します。また誤った組み立て、取り付けによる破損、事故等に関しては保証の対象となりませんので予めご了承下さい。なお、詳しくは別冊テクニカルマニュアルを参照して下さい。

施工完了後、添付の取扱説明書に必要事項を記入し説明の上、ご使用者またはお施主様へ必ず手渡しして下さい。

1 基本構成

1-1 主要部材名称

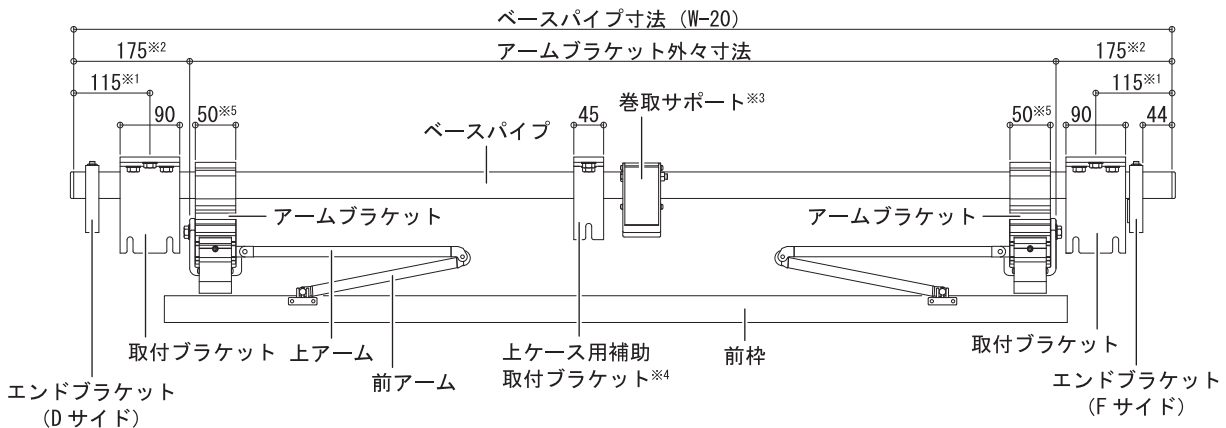


No.	名 称
①	上ケース用取付ブラケット
②	上ケース用補助取付ブラケット※1
③	ベースパイプ
④	エンドブラケット
⑤	手動ギア※2
⑥	上ケース
⑦	上ケース側板
⑧	巻取パイプ
⑨	巻取サポート※3
⑩	下ケース
⑪	下ケースホルダー※4
⑫	アーム (左)※5
⑬	アーム (右)※5
⑭	前枠金具
⑮	前枠
⑯	前枠カバー
⑰	前枠キャップ
⑱	キャンバス
⑲	アームブラケット※6
⑳	前枠ガイド
㉑	アームストッパー
㉒	クランクハンドル※7

- ※1 上ケース用補助取付ブラケットは、W=3435(1.75間)より大きいサイズで使します。
- ※2 手動ギアは手動タイプでの設定です。その他に電動、電手動タイプの設定もあります。
- ※3 巻取サポートは、W=5255(2.75間)より大きいサイズで使します。
- ※4 下ケースホルダーは、間口サイズによって数が異なります。
- ※5 アームの規格は、10、15、20、25の4種類です。
- ※6 アーム規格10～20と25とでは、形状(ベースパイプへの取付巾)が異なります。
- ※7 手動、電手動タイプでの設定です。

※電動、電手動タイプには、標準スイッチがセットされます。

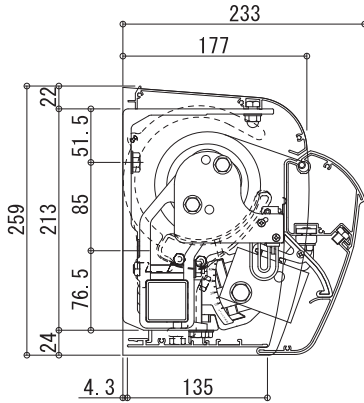
1-2 標準設置寸法



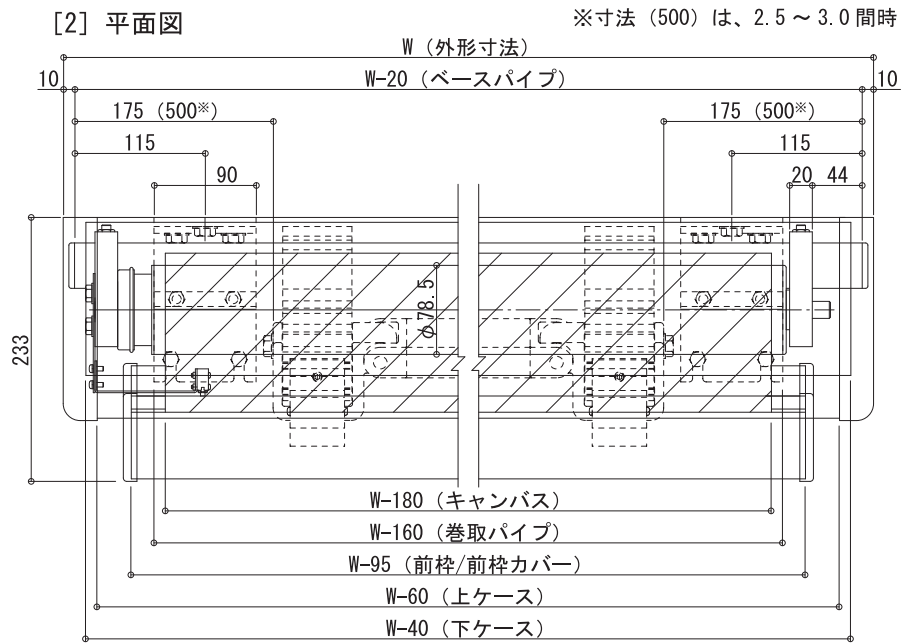
- ※1 この寸法は、115～300mmの範囲内で移動可能です。
- ※2 ※1の移動に合わせて、調整して取り付けして下さい。なお、規格間口2.5～3.0間用では、500mmで設定して下さい。
- ※3 巻取サポートは、規格間口2.75間より大きいサイズで使します。取付位置は、キャンバスの中央ウェルダ部分に取り付けて下さい。
- ※4 上ケース用補助取付ブラケットは、規格間口1.75間より大きいサイズで使します。
- ※5 アーム規格10～20で巾50mm、25で巾60mmとなります。

1-3 納まり図 ※図は電動タイプです。

[1] 断面図



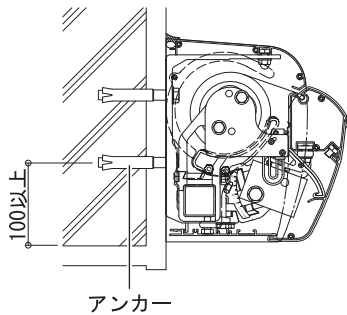
[2] 平面図



1-4 取り付けタイプ

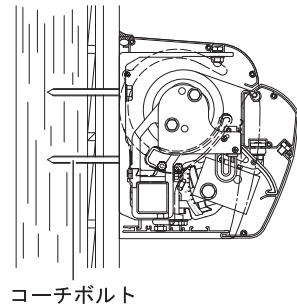
※取付ブラケットは、本体の使用に耐えられる構造体に確実に取り付けして下さい。
 ※下地金具を用いる場合、下地金具の強度と取り付け部位の強度は本体の使用に確実に耐えられる金具と方法にして下さい。

[1] コンクリート造壁面納まり



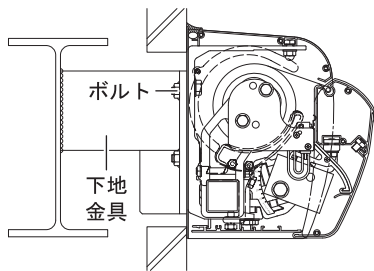
※アンカー類は、躯体の構造に適した物をご使用下さい。

[2] 木造壁面納まり



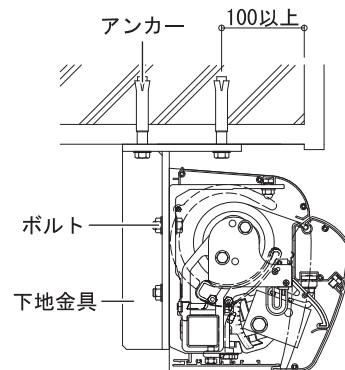
※コーチボルトは、柱、梁等の構造体に直接締結して下さい。
 ※柱は、10年以上維持できる十分な強度があり、100角以上の材料（松、桐、檜等）とし、コーチボルトを65mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。

[3] ALC造壁面納まり



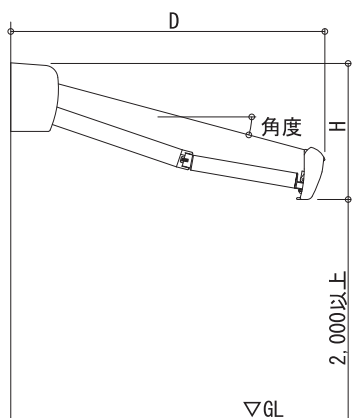
※ALC造の場合、必ず構造体の鉄骨から下地金具を用いて取り付けして下さい。

[4] コンクリート造天井納まり



※コーチボルトによる木造天井面への取り付けは出来ません。

2-1 出巾と勾配の関係



勾配寸法表

(単位: mm)

アーム 角度	10		15		20		25	
	D	H	D	H	D	H	D	H
15°	1,172	511	1,527	607	1,996	733	2,472	860
20°	1,144	599	1,489	724	1,949	892	2,408	1,059
25°	1,108	682	1,441	838	1,884	1,045	2,327	1,251
30°	1,064	762	1,382	946	1,806	1,191	2,229	1,435
35°	1,013	837	1,314	1,048	1,715	1,329	2,115	1,609
40°	955	907	1,237	1,143	1,612	1,458	1,987	1,772
45°	892	970	1,152	1,230	1,498	1,577	1,844	1,922

※ の範囲は標準設定外です。屋内でのご使用を除き、雨がたまる恐れのある屋外で使用される場合は保証対象外となります。
 ※表内の数値は参考値ですので、設置時の目安としてご使用下さい。
 ※途中使いをすると雨がたまり易くなりますので、ご注意ください。

2-2 取り付け時の注意

取り付け部上下に障害物等がある場合は、取り付け位置に注意して下さい。

[上部に障害物がある場合]

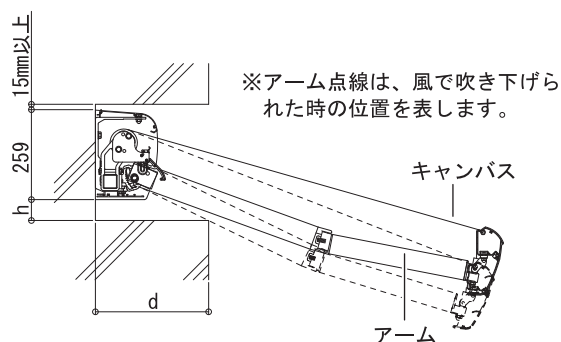
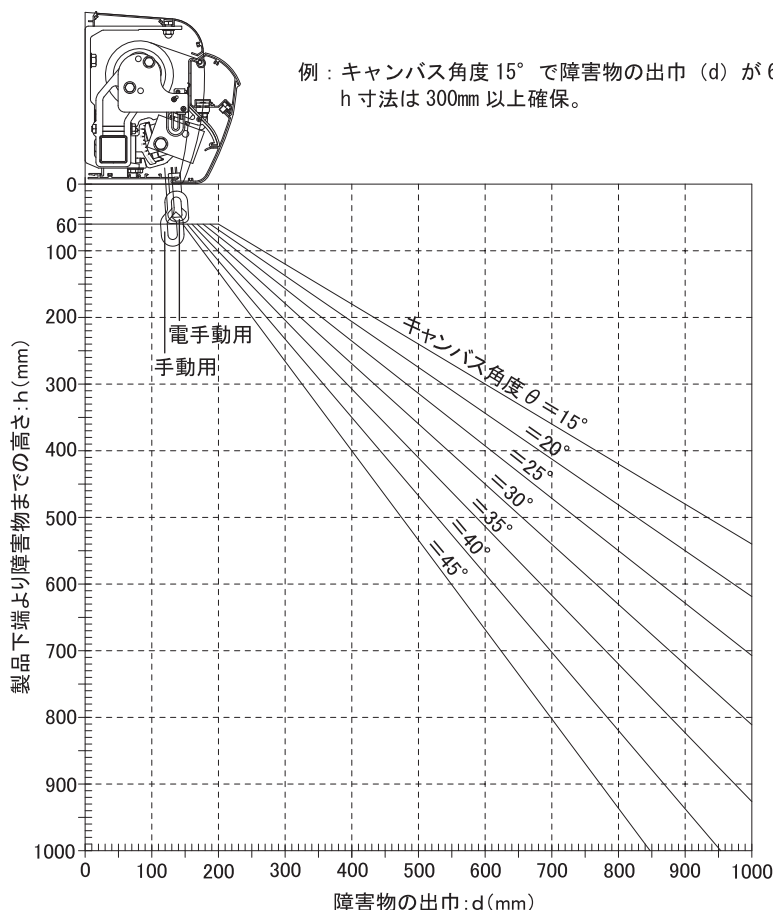
製品上端と障害物下端との間を 15mm 以上確保して下さい。上ケースが取り付けられない場合があります。

[下部に障害物がある場合]

製品下端と障害物上端 (h) との間を h=60mm 以上確保して下さい。

また、駆動方式により製品下端と障害物上端 (h) 及び障害物の出巾 (d) を下図を参考に設定して下さい。

※目安寸法となります



3-1 取り付けの準備

参考締結部品一覧表

躯体	品種	サイズ	下穴径
木造	コーチねじ	φ9×100	φ6.5
RC造打放し	グリップアンカー	M10×40	φ14.5
	オールアンカー	M10×80	φ10.5
RC+モルタル等	アジャストアンカー	M10×80	φ15.0

[1] 墨出し

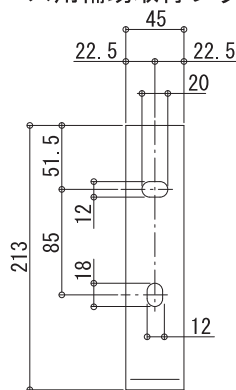
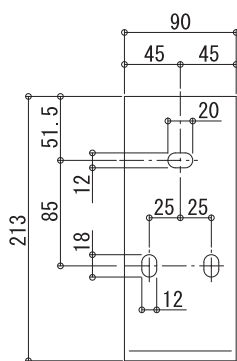
部材寸法に注意し、取付ブラケットのレベル、通りを墨出しして取付ブラケットの穴位置をけがいて下さい。

[2] 下穴あけ

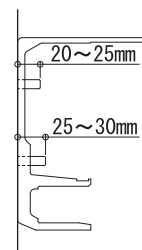
構造体及び締結部品を確認の上、適した下穴あけを行って下さい。
※アンカーを使用する場合は安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい

[3] 取付ブラケットの種類

●上ケース用取付ブラケット ●上ケース用補助取付ブラケット



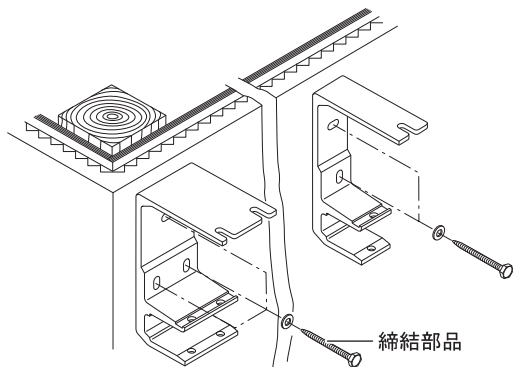
[4] ボルト等の取付面からの出寸法



※表示寸法以内で設置して下さい。
表示寸法より長くなると、キャンバスに接触します。

[5] 取付ブラケットの取り付け

※取付ブラケットは、所定の位置に所定の数量を必ず設置して下さい。
※取付ブラケットは、重量・使用に耐えられる構造体に直接取り付けして下さい。
※取付ブラケットは、壁面に全体を密着させて取り付けして下さい。取り付け部の変形は事故につながります。
※取付ブラケットは、必ず水平・垂直を出して取り付けして下さい。曲がった状態だとベースパイプが設置出来なくなります。

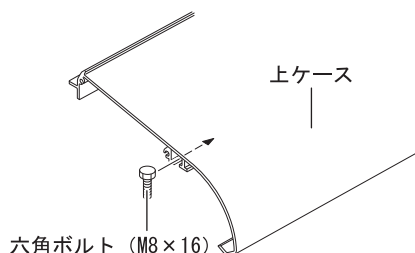


※木造の場合、柱は10年以上維持できる十分な強度があり、100角以上の材料（松、楓、檜等）とし、コーチボルトを65mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。

3-2 上ケースの取り付け

[1] ボルトのセット

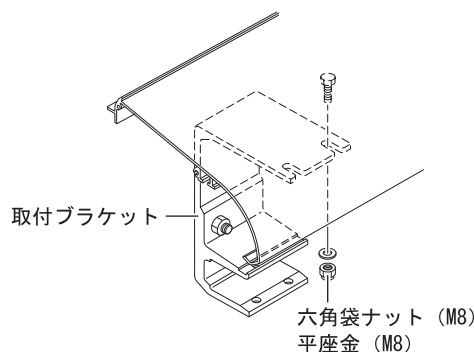
必要数の六角ボルトを上ケースのボルトガイドにセットして下さい。



六角ボルト (M8×16)

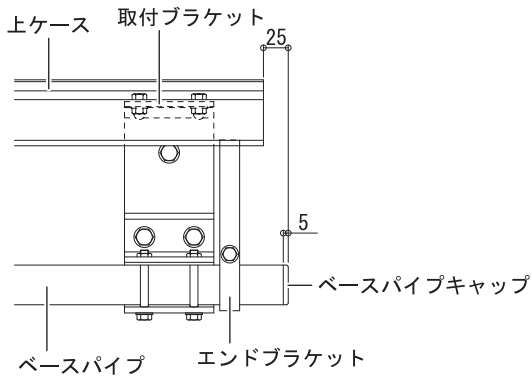
[2] 上ケースの固定

各六角ボルトを上ケース用取付ブラケットの長穴に袋ナットで固定して下さい。



[3] 上ケースの取り付け位置

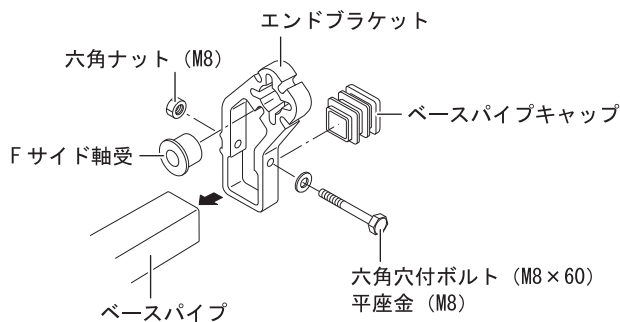
上ケースの固定は、ベースパイプキャップ端部から25mm内側に取り付けして下さい。



3-3 ベースパイプの組み立て

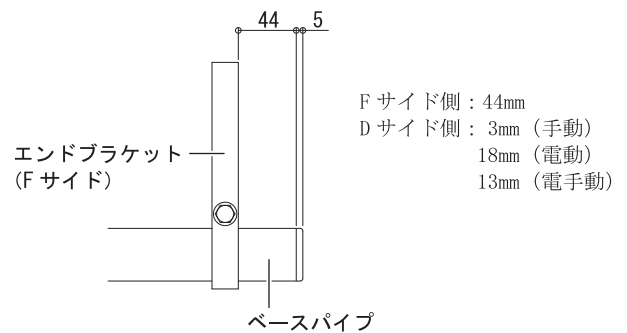
[1] Fサイド、Dサイドエンドブラケットの取り付け

Fサイド側（巻取パイプ丸軸側）を先に取り付けます。Dサイド側は機構を取り付けるまで仮止めにして下さい。



[2] Fサイドエンドブラケットの取り付け位置

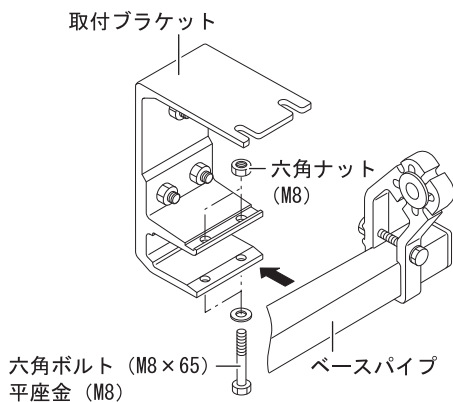
ベースパイプ端部から必ず44mmの位置になる様に取付けて下さい。



3-4 ベースパイプの取り付け

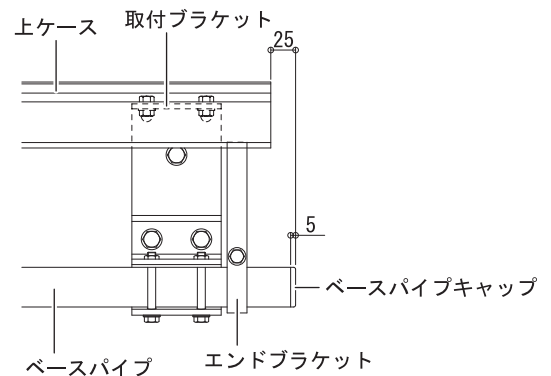
[1] 取付ブラケットへのはめ込み

取付ブラケットが曲がっていない事を確認してからベースパイプを正面からはめ込んで下さい。



[2] ベースパイプの取り付け位置

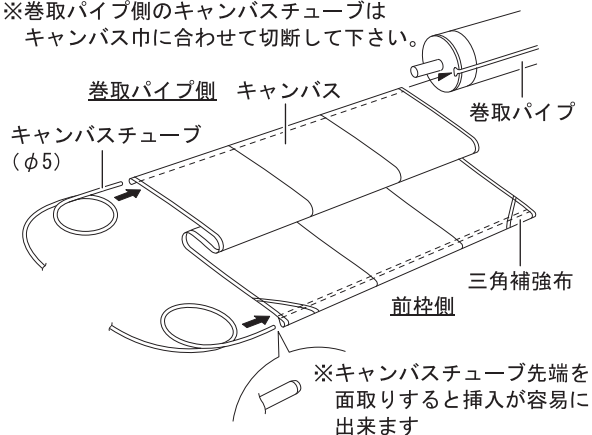
上ケース端部より25mm出た位置でベースパイプを固定して下さい。



3-5 キャンバスの組み込み

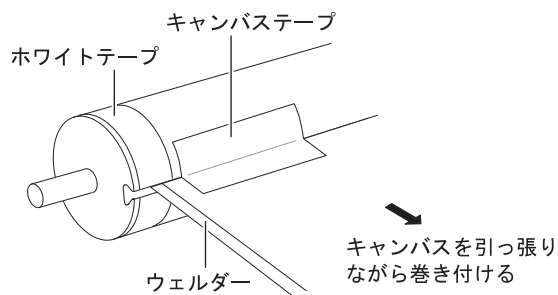
- [1] キャンバスを巻取パイプの溝に挿入
 キャンバスにキャンバスチューブを挿入した後、
 巻取パイプへ挿入して下さい。

※巻取パイプ側のキャンバスチューブは
 キャンバス巾に合わせて切断して下さい。

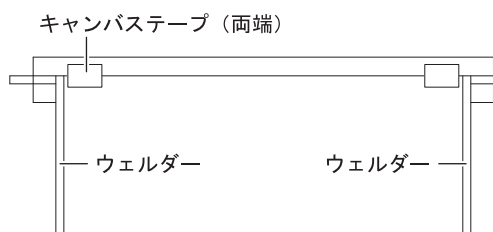


- [2] キャンバスの固定と巻き取り
 キャンバス挿入後、左右のチリ (10mm ずつ) を
 合わせ、キャンバス巻き付け方向を確認して下
 さい。キャンバスを引張りながらウェルダ―以
 外の部分にキャンバステープを貼り付け、巻き
 付けて下さい。

※キャンバスはゆるみのないように巻いて下さい。



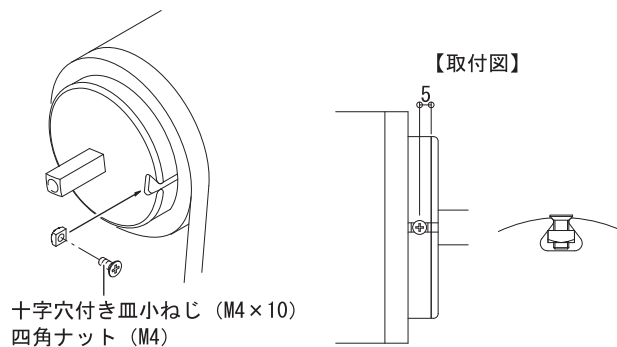
- [3] キャンバステープ貼付位置



- [4] 抜け止めねじの固定

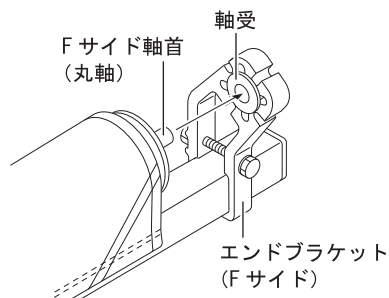
四角ナットを巻取パイプの溝に挿入し、十字穴付き
 皿小ねじで固定して下さい。

※手動タイプはD・Fサイド、電動タイプ、電手動タイプはFサ
 イドのみ



3-6 巻取パイプの取り付け (F サイド側)

- [1] F サイド側の取り付け
 エンドブラケット (F サイド側) の軸受に F サイド
 軸首 (丸軸) を挿入して下さい。



※F サイド軸首を取り付ける際、押し込み過ぎるとエンドブラケ
 ットが斜めになる可能性がありますので注意して下さい。

[F サイド側を右側から左側に変更する場合]

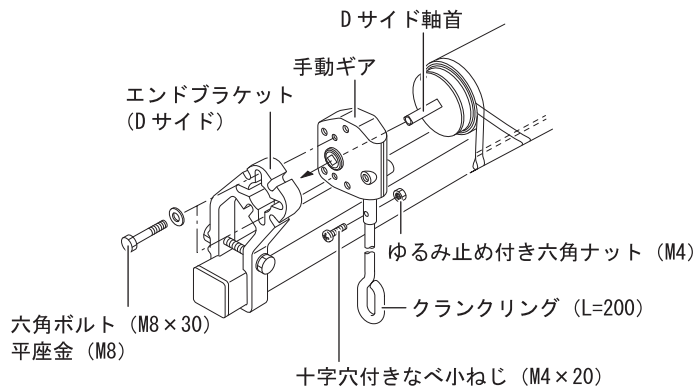
キャンバスを巻取パイプからほどき、巻取パイプの
 左右を逆転させてから再度キャンバスを取り付けし、
 巻き付け直します。

※キャンバスの取り扱い (汚れ、破れ等) に注意して下さい。

3-7 巻取パイプの取り付け (D サイド側)

[1] 手動タイプの場合

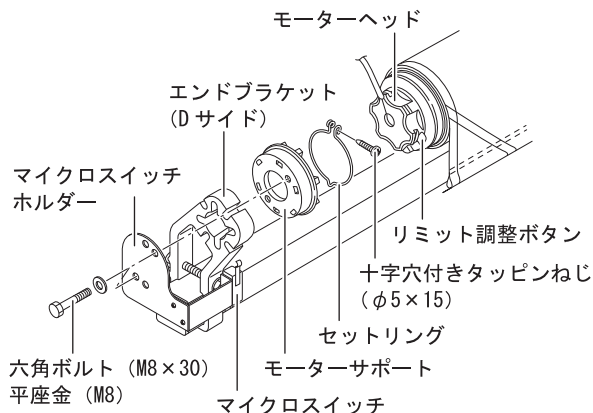
手動ギアとDサイド軸首との間に1~2mm すき間をとって取り付けて下さい。



※手動ギアの取り付け向きを逆にするとギアがロックせず、巻取パイプが回転してしまい危険です。
 ※エンドブラケットが斜めになっているとギアに負担がかかり、逆転防止機能が働き、張り出しが出来なくなる可能性がありますので注意して下さい。

[2] 電動タイプの場合

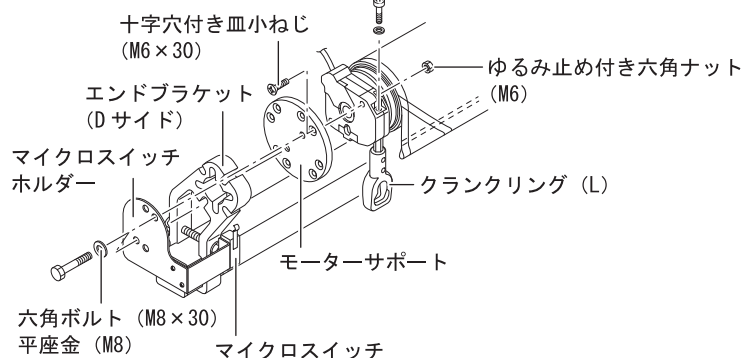
リミット調整ボタンが前枠側の斜め下方向になる様に組み付けて下さい。



※セットリングはモーターサポートに取り付けた状態でモーターヘッド部分にはめ込みます。タッピンねじ取り付け部分を手で押し開くと、はめ込み易くなります。
 ※モーターの巻取パイプへの着脱方法はテクニカルマニュアル又はコントロールマニュアルを参照して下さい。

[3] 電手動タイプの場合

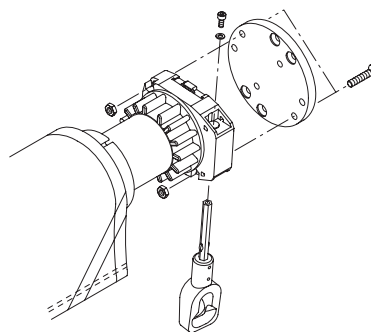
六角穴付きボルト (M4×10)
 ※六角棒スパナ (呼び3) 使用
 平座金 (M4)



※モーターの巻取パイプへの着脱方法はテクニカルマニュアル又はコントロールマニュアルを参照して下さい。

[電手動モーターを左側から右側に入れ替える場合]

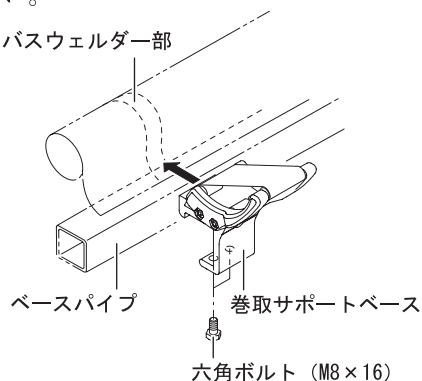
クランクリング及びモーターサポートを入れ替えて下さい。



3-8 巻取サポートの取り付け ※間口3.0間のみ

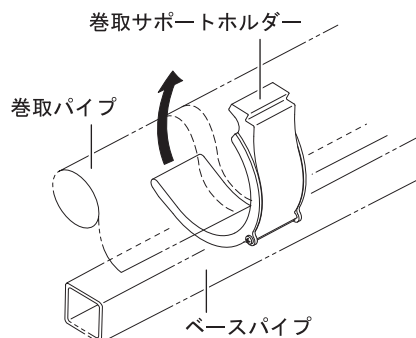
[1] 巻取サポートベースの取り付け

キャンバス中央のウェルダ位置に合わせて固定して下さい。

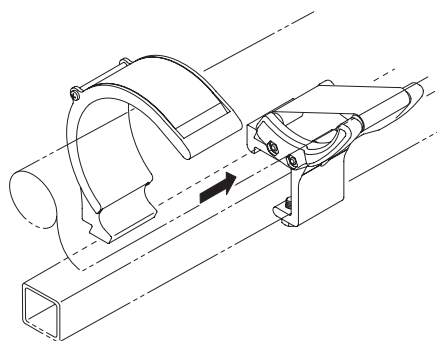


[2] 巻取サポートホルダーの取り付け

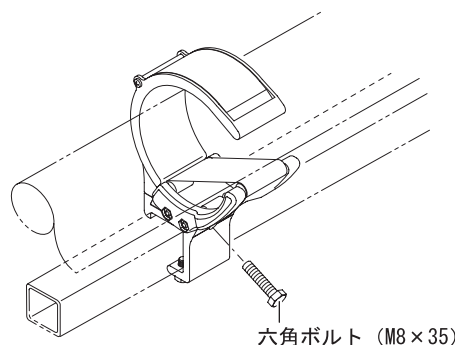
巻取パイプとベースパイプの間に差し込み、半回転させて下さい。



- [3] 巻取サポートの組み立て
巻取サポートホルダーを巻取サポートベース横からスライドさせて差し込んで下さい。

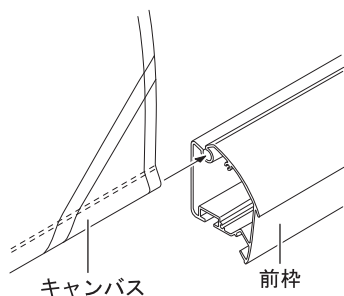


- [4] 巻取サポートホルダーの固定
巻取サポートホルダーを六角ボルトで固定して下さい。



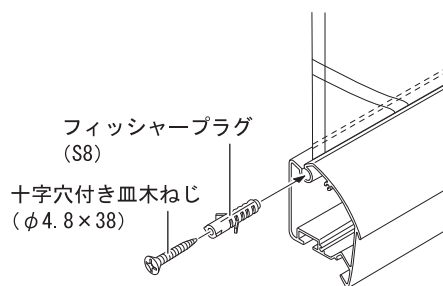
3-9 前枠の取り付け

- [1] キャンバスの取り付け
キャンバスチューブがセットされたキャンバスを前枠に挿入して下さい。

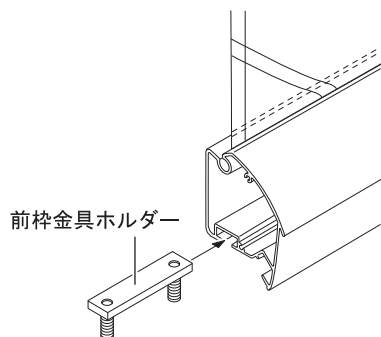


※キャンバスチューブはフィッシャープラグ分短く切っておいて下さい。

- [2] キャンバス、フリルと前枠の取り付け
左右のチリ (42.5mm ずつ) を合わせて、キャンバスとフリルをフィッシャープラグで固定して下さい。



- [3] 前枠金具ホルダーの取り付け
アーム本数と同数の前枠金具ホルダーを前枠に取り付けて下さい。

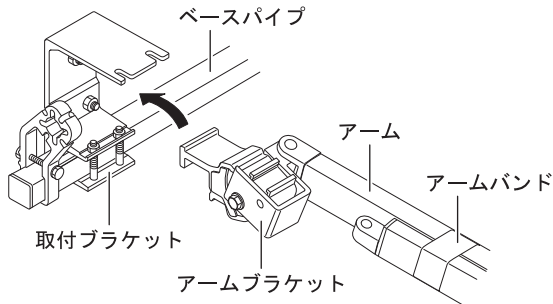


3-10 アームの取り付け

[1] アームブラケットの取り付け

ベースパイプに対してアームを直角にした状態で取り付けて下さい。

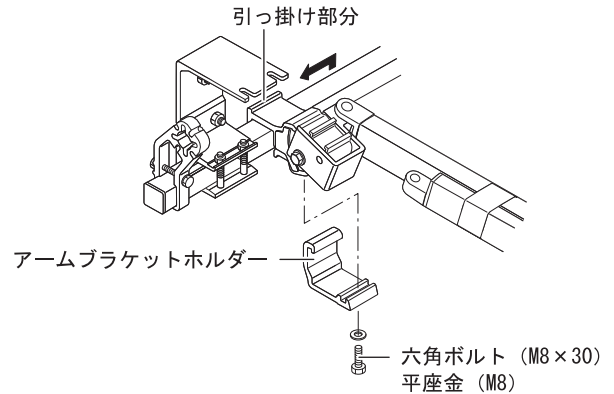
※アームバンドは、前枠とアームを固定するまで外さないで下さい。



※アームブラケットの取付位置は、1 ページ、2 ページを参照して下さい。

[2] アームブラケットホルダーの取り付け

アームブラケットの引っ掛け部分に横からアームブラケットホルダーをスライドさせ、引っ掛けてから固定して下さい。

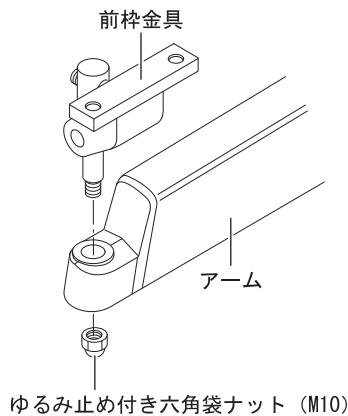


※現場状況により建物と壁とのすき間が狭い場合は、ベースパイプを手で引っ張りながら行って下さい。

3-11 アームと前枠の固定

[1] 前枠金具の取り付け

アーム先端の穴に前枠金具を挿し込み、袋ナットで固定して下さい。

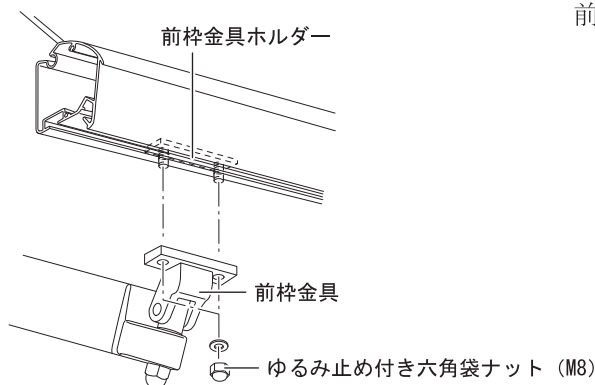


【注意】

アームバンドをはずす時は十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手で押さえて下さい。



[2] 前枠とアームの仮固定



仮固定位置

前枠型材端部から前枠金具芯までの寸法です。

10 アーム	: 378mm
15、20 アーム	: 308mm
25 アーム	: 318mm

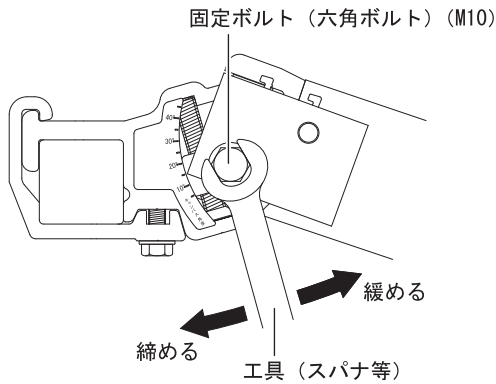
※上記寸法は、あくまでも仮固定位置ですので微調整が必要となります。

※上記寸法は、標準的なアームブラケット取付位置（ベースパイプ端部から 175mm）での寸法となります。

3-12 アーム角度の調整

[1] 調整の準備

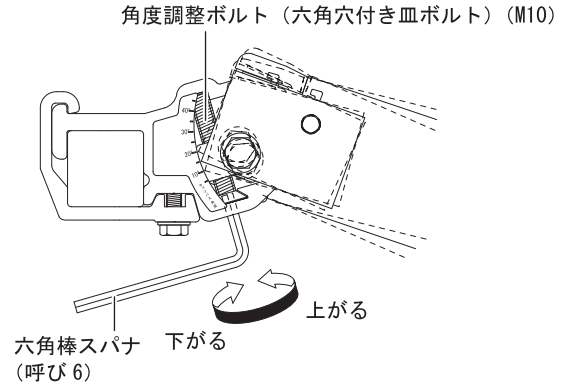
アーム角度の調整を行う前に、アームブラケット側面の固定ボルトを緩めて下さい。



※工具を回す際は、アームを支えながら（持ち上げながら）行うか、アーム（前枠）が収納された状態で行って下さい。

[2] アーム角度の調整方法

アームブラケット内の角度調整ボルトを、六角棒スパナで回して角度調整を行って下さい。調整完了後、固定ボルトを確実に締めて下さい。



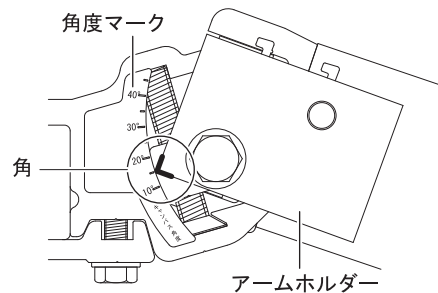
※六角棒スパナを回す際は、アームを支えながら（持ち上げながら）行うか、アーム（前枠）が収納された状態で行って下さい。

※固定ボルト（M10）は確実に締めて下さい。締め付けがあまりいと、破損の原因となります。

[参考] アーム角度の目安

アームブラケット側面の角度マークがキャンバスの角度となり、左右のアームを同じに設定します。アームホルダーの角を目盛りと合わせて下さい。

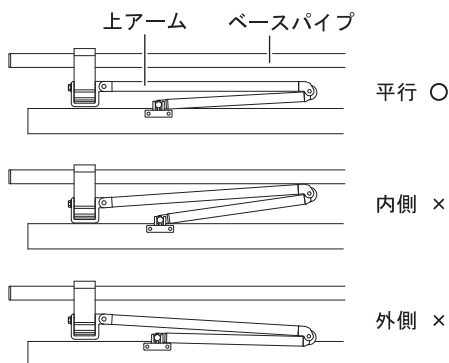
※アームのサイズ、個体差によって多少異なりますので、前枠の水平を確認しながら微調整を行って下さい。



3-13 アーム位置と前枠金具の調整

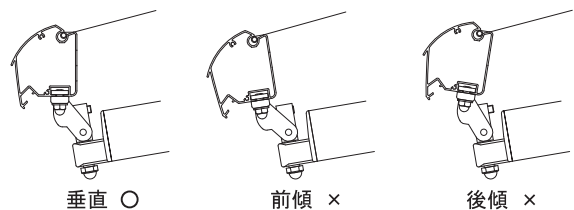
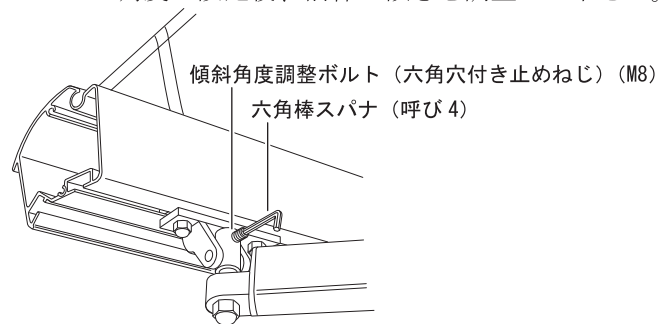
[1] 前枠金具の位置調整

前枠金具を左右に移動させ、前枠が収納された時点でベースパイプと上アームが平行になる様に調整して下さい。



[2] 前枠の傾斜調整

アーム角度の設定後、前枠の傾きを調整して下さい。



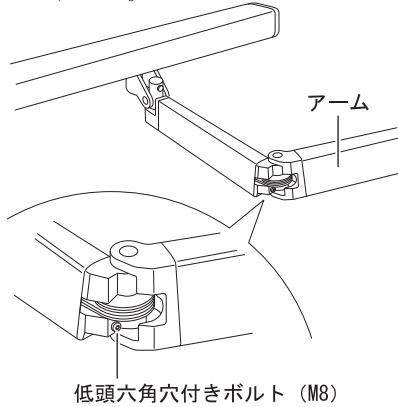
※垂直状態は収納された時の状態です。

3-14 アームテンションの調整 (参考)

※アームテンションは工場出荷時に予め調整を行っていますが、状況によりアームテンションを弱めたい場合等は、下記の要領で調整を行って下さい。

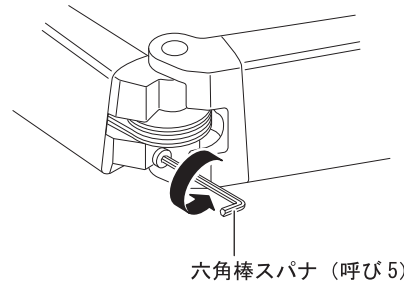
[1] 調整箇所

アームテンションの調整は、アームエルボ部分のボルトで行って下さい。



[2] 調整方法

アームテンションを弱くするには、ボルトを出す方向 (左回し) で調整して下さい。



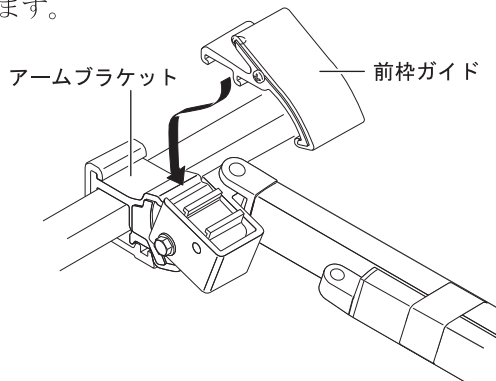
※低頭六角穴付きボルトの標準設定位置は、全て締め込んだ状態です。

※ボルト頭が接触するまでアームが伸びると、キャンバスがたるみますので、その前で止めて使用して下さい。

3-15 前枠ガイドの取り付け

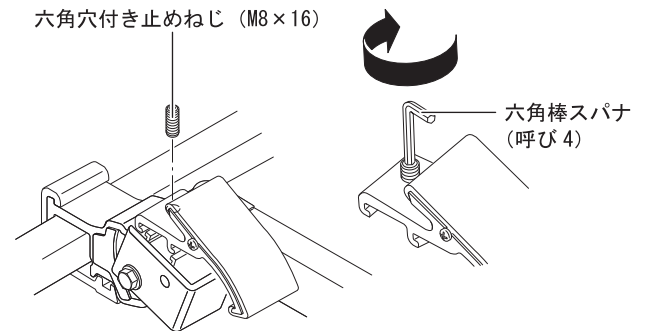
[1] 前枠ガイドの引っ掛け

アームブラケット上部の溝に前枠ガイドを引っ掛けます。



[2] 前枠ガイドの固定

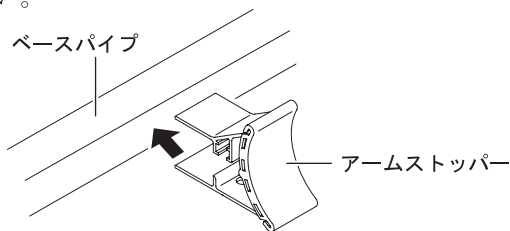
六角穴付き止めねじで前枠ガイドを固定して下さい。



3-16 アームストッパーの設置

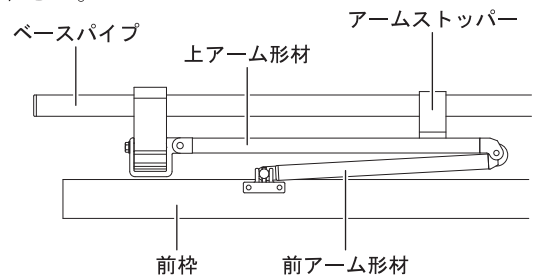
[1] ベースパイプへ差し込み

ベースパイプ正面からアームストッパーを差し込んで下さい。



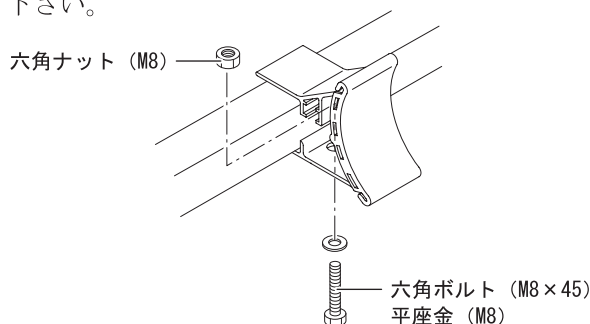
[2] アームストッパー取り付け位置

上アーム先端の形材部分に当たる様に位置を調整して下さい。



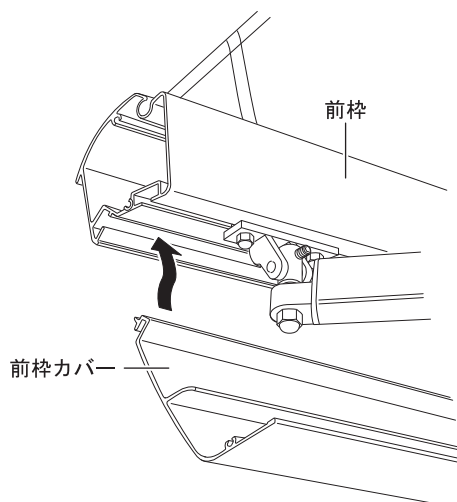
[3] アームストッパーの固定

六角ナットをアームストッパーの溝に差し込み、六角ボルトで締め込んでアームストッパーを固定して下さい。



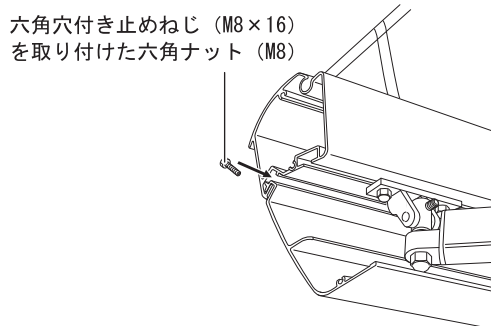
3-17 前枠の組み立て

- [1] 前枠カバーの引っ掛け
アーム・前枠金具等、各部の調整が済んだら、前枠カバーを前枠に引っ掛けて下さい。



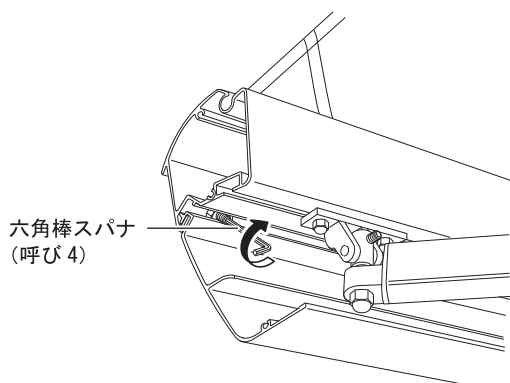
※アームが伸びきった状態の時（キャンバスが緩んだ状態）に前枠カバーを引っ掛けて下さい。アームテンションで前枠形材がしなっていると、前枠カバーの引っ掛けが困難となります。

- [2] 固定部品の取り付け
前枠カバーを引っ掛けた部分のすき間に、六角穴付き止めねじを取り付けた六角ナットを差し込んで下さい。



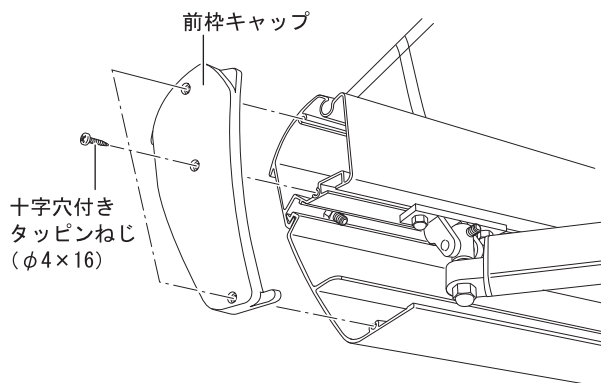
※両端と中央の計3ヶ所に取り付けて下さい。

- [3] 前枠カバーの固定
六角棒スパナで締め込んで固定して下さい。



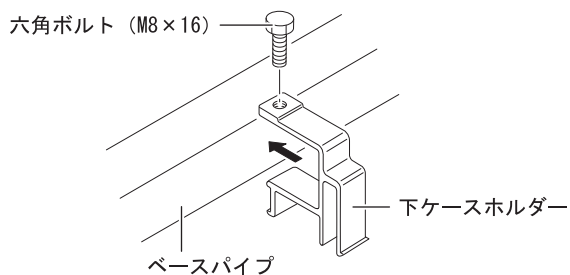
※締め込み過ぎると前枠形材が変形するので注意して下さい。

- [4] 前枠キャップの取り付け
前枠キャップをタッピンねじで両側に取り付けて下さい。



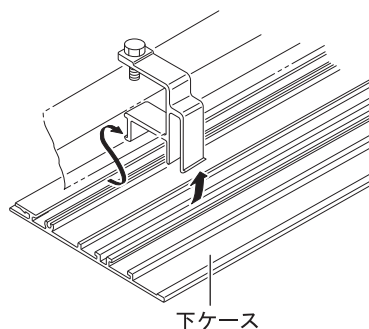
3-18 下ケースの取り付け

- [1] 下ケースホルダーの取り付け
ベースパイプ正面から下ケースホルダーを差し込み、六角ボルトで固定して下さい。



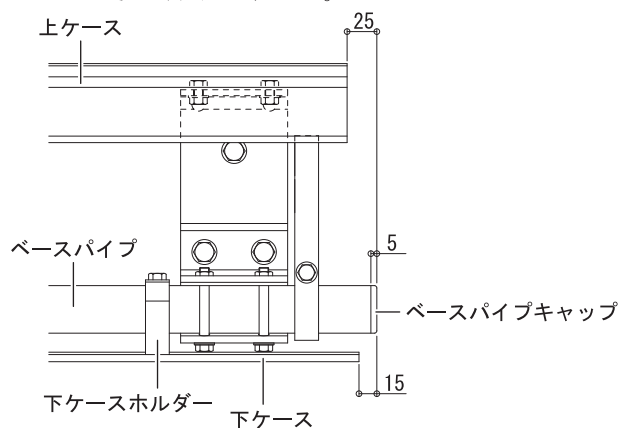
※六角ボルトは下ケースを取り付けてから締め付けて下さい。先に固定すると、下ケースの取り付けが困難となります。

- [2] 下ケースの取り付け
先に下ケースの後方部を下ケースホルダーにはめ込み、下ケースの前方を上押し上げると固定されます。



[3] 取り付け位置

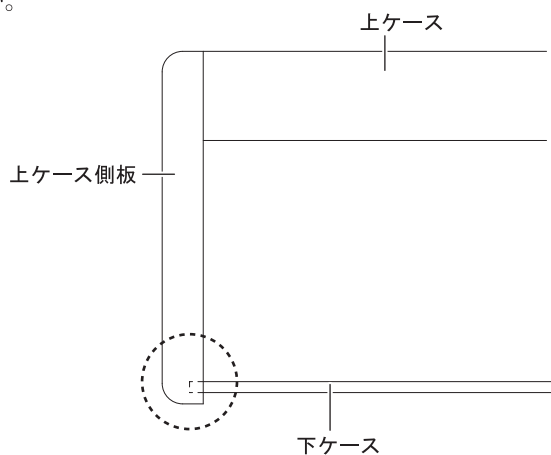
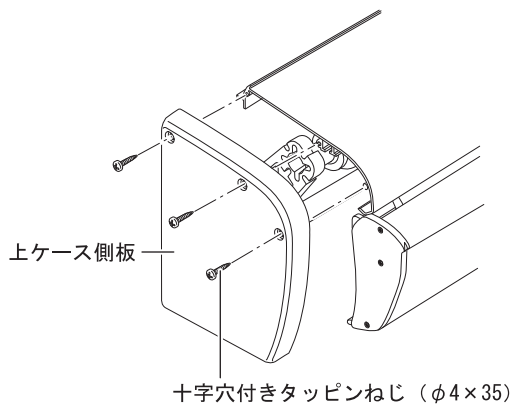
ベースパイプの長さに基づいて位置を調整し、下ケースを取り付けて下さい。



3-19 上ケース側板の取り付け

[1] 上ケース側板の取り付け

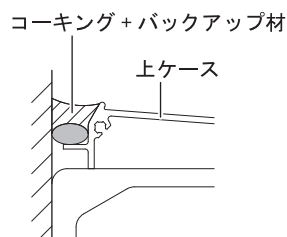
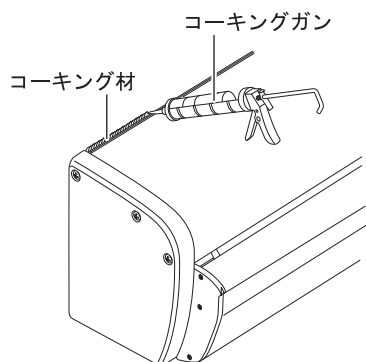
上部3ヶ所、タッピンねじで取り付けして下さい。



※下ケースは上ケース側板にもぐらせる様にして下さい。

[2] コーキング

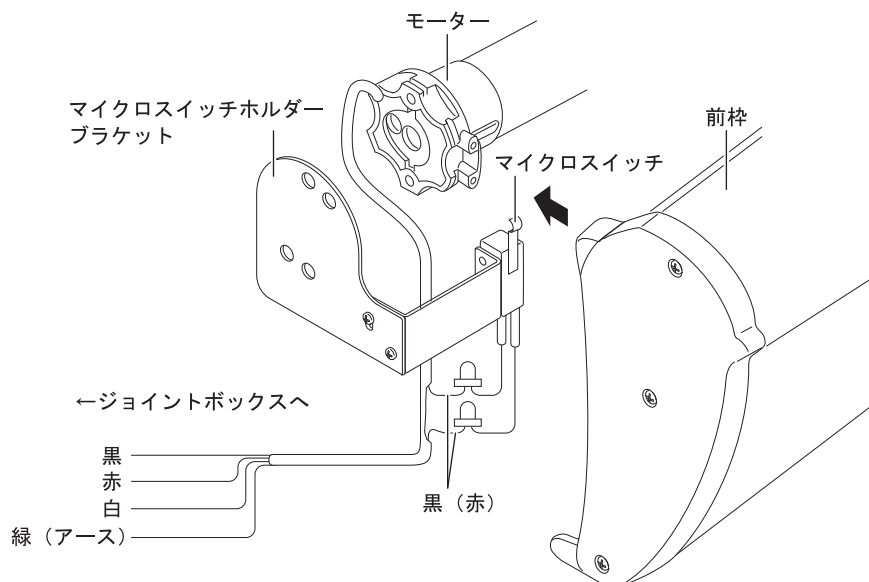
上ケースと建物（壁）の間をコーキングして下さい。



※施工状況に応じてバックアップ材を使用して下さい。
※施工状況に応じて両サイド部分も上ケースと連続してコーキングを行って下さい。

4-1 マイクロスイッチの結線

電動・電手動モーターの場合、巻き取り方向のリミット調整をマイクロスイッチを利用して停止させます。



配線色	左付けの場合	右付けの場合
黒	巻き取り (閉)	張り出し (開)
赤	張り出し (開)	巻き取り (閉)
白	コモン	コモン
緑	アース	アース

※本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合は () の様に結線をして下さい。

※マイクロスイッチホルダーは左付け用と右付け用がありますので、発注時にご指定いただく必要があります。

4-2 マイクロスイッチの取り付け微調整

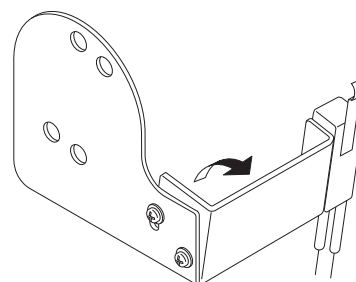
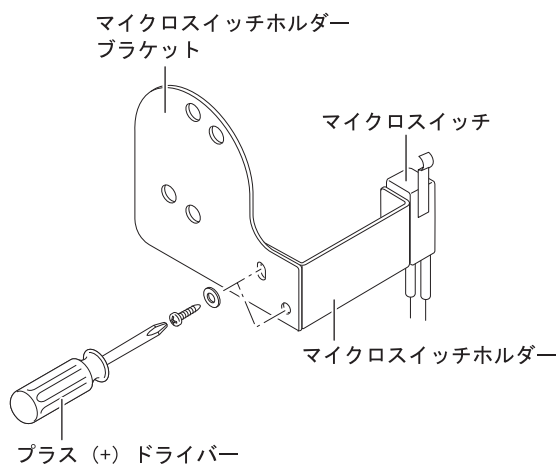
現場状況等で収納時の納まりを調整する必要がある場合に行ってください。

[1] 調整ねじ位置

マイクロスイッチホルダーブラケット側面のねじをゆるめて下さい。

[2] マイクロスイッチホルダーの調整

マイクロスイッチホルダーを動かして調整を行ってください。

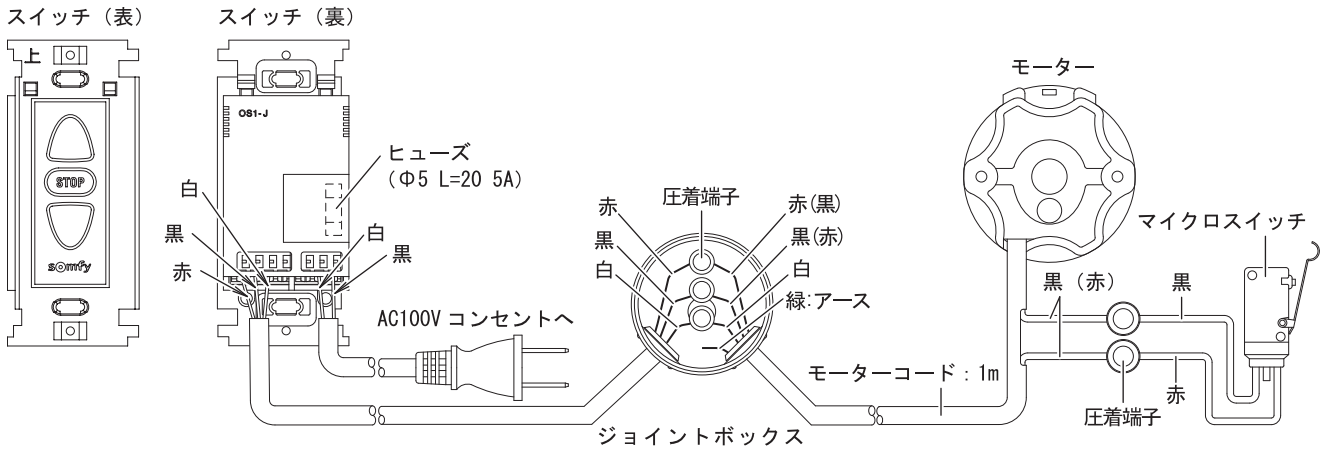


※微調整後、プラスドライバーにてしっかりとねじを締め付けて下さい。

4-3 標準スイッチ

[1] 結線

電動（電手動）タイプの製品1台を標準スイッチで操作する場合の方法です。



※本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合は、ジョイントボックス内で()の様に結線して下さい。

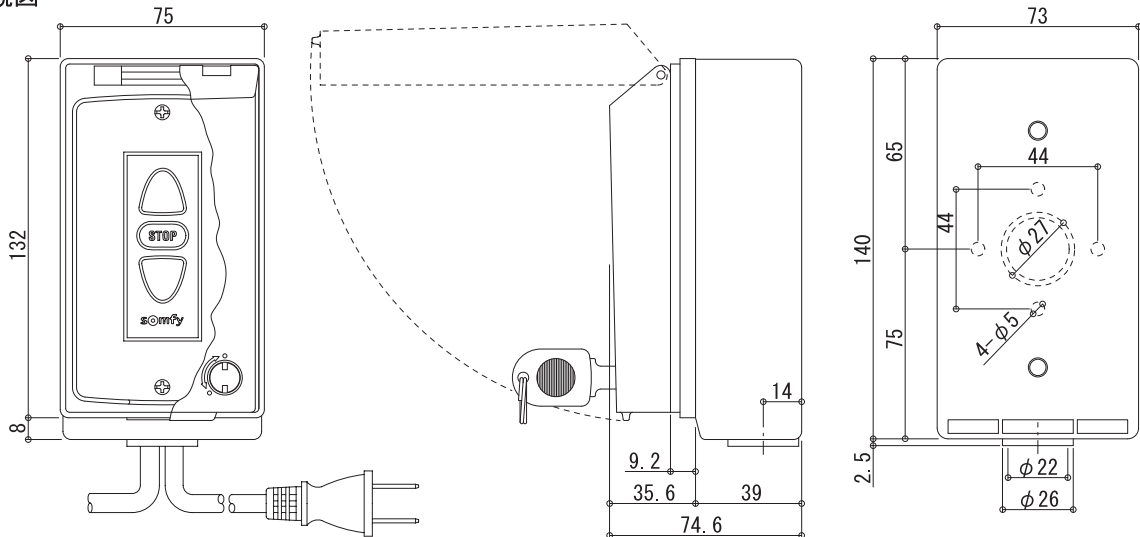
※スイッチは防水構造ではありませんので直接雨のかかる場所への設置はお避け下さい。

※標準スイッチで複数のモーターを動作させる事はできません。

※モーター線の緑コードはアース線ですので、現場の状況に応じた設置方法をお取り下さい。

※スイッチにはアース線のつなぎ込みが可能な端子（サージアブソーバー専用）を設けています。

[2] 外観図

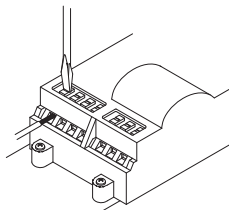


[3] 付属品

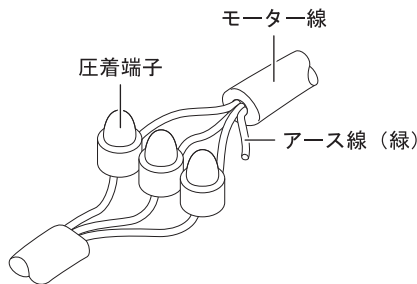
- ①開・閉シール（各1枚）
- ②鍵（2個）
- ③電源プラグ付きコード（3m）
- ④モーター配線用コード（5m）
- ⑤ジョイントボックス（1個）
- ⑥圧着端子（3個）

[4] スイッチと配線コードの接続

より線を接続する場合、マイナスインスライバーで端子ボタンを押したまま配線コードを差し込みます。単線の場合、差し込むだけで接続が可能です。接続後は配線コードをかるく引っ張り、抜けない事を確認して下さい。



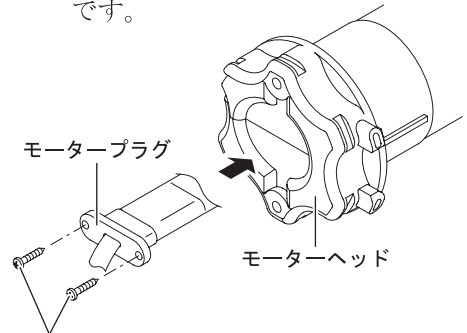
[5] ジョイントボックス内の接続



※モーター線のアースは現場の状況に応じた処置を施して下さい。

[6] モータープラグの脱着

モーター交換時に差し替えが可能です。



十字穴付きタッピンねじ（φ3.5×10）

※電手動タイプのモーターではプラグの形状が異なります。

※適合電線範囲はφ1.0mm～φ1.6mmです。
※コード長さ（皮膜ムキ）は9mmです。

施工後の確認項目

施工後に必ず動作確認を行ない、その後下記の項目を確認して下さい。

点検ヶ所	確認項目	参考ページ
取付ブラケット	取付ブラケットの取り付けに適正締結部品を使用したか	4
	締結部品のゆるみ、締め忘れは無い	4
	ベースパイプ固定用ボルトの増締めをしたか	5
	補助取付ブラケットを設置したか（間口規格 2 間以上）	1、4
エンドブラケット	F サイド側の取り付け基準位置は適正か	5
	F・D サイド共にエンドブラケットは斜めになっていないか	5
	正面から見て手動ギアが斜めになっていないか（手動タイプ時）	7
	モーターサポートの取り付けは問題ないか（電動、電手動タイプ時）	7
巻取パイプ	軸受と軸首のすき間は 1 ～ 2mm になっているか	7
	F サイド軸首はリベット固定されているか	6
	D サイド軸首はリベット固定されているか（手動タイプ時）	7
	駆動輪はリベットで固定されているか（電動、電手動タイプ時）	テクニカルマニュアル
	キャンバス固定用のキャンバステープを忘れずに貼ったか	6
	キャンバスの左右のチリは同じか	6
	キャンバスチューブの抜け止めねじを固定したか	6
前枠	前枠金具の位置、締め付けは確実か	8、9、10
	キャンバスはフィッシャープラグで固定したか	8
	キャンバスの左右のチリは同じか	8
	キャンバス張り出し時、前枠のレベルは水平か	10
	収納時、前枠は垂直に収まっているか	10
	前枠カバーの固定ボルトは適正か	12
	前枠ガイドの取り付け及び適正位置に納まっているか	11
アーム	アームブラケットの取り付け方法及び位置は適正か	1、9
	アームのサイズ別適正角度で設定したか。又、固定ボルト（M10）は確実に締め付けたか	3、10
	アーム収納時、アーム形材がアームストッパーに適正位置で接しているか	11
	アームブラケットホルダーの固定ボルトは確実に締め付けたか	9
	キャンバス張り出し時、アームエルボ部の低頭六角穴付きボルトの頭が接触していないか	11
巻取サポート （間口規格 3 間）	ベースパイプにしっかり固定されているか	7、8
	巻取サポートの上側（ホルダー）と下側（ベース）は固定されているか	8
	キャンバスのウェルダ一部に納まっているか	7
上ケース	上ケースの固定ボルトは確実に締め付けたか	4
	上ケースはベースパイプ、前枠等と平行に設置できているか	4、5
	取り付け面（壁面）と上ケースの間にコーキングをしたか	13
下ケース	下ケースホルダーは適正な数、位置に設置したか	12
	下ケースホルダーの固定ボルトは確実に締め付けたか	12
	下ケースはベースパイプ、前枠等と平行に設置出来ているか	12、13
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか	6
	手動ギアの取り付け向きは適正か（手動タイプ時）	7
	手動ギアの逆転防止機能は問題ないか（手動タイプ時）	7
	クランクリングの固定ボルトを確実に締め付けたか（手動、電手動タイプ時）	7
	クランクハンドルは適正な長さの物が設定出来ているか	テクニカルマニュアル
	モーターのリミット調整による停止位置は適正か（電動、電手動タイプ時）	テクニカルマニュアル
	キャンバスの開閉方向とスイッチの開閉表示とが合っているか（電動、電手動タイプ時）	15
	屋外配線のコードは U 字結線されているか（電動、電手動タイプ時）	コントロールマニュアル
取り扱いの注意を説明し、説明書を手渡し、施工完了書にサインを受けたか	取扱説明書	